

第2回 海藻文化祭を開催します

市では、平成30年度より、地域再生計画『「鳥羽・海藻文化革命」 幸福実感の持てるまちづくり推進計画』を策定し、鳥羽の海藻をテーマにしたさまざまな事業を展開し、市民が幸福実感を得ることのできる、活気あふれるまちの姿と、主要産業である漁業と観光業の持続的な発展に向けて取り組んでいます。

その一環として、昨年に引き続き、「第2回海藻文化祭」を開催します。

今回は、「鳥羽の海をもっと知ろう～今ある自然を残そう～」をテーマに、「^{たの}愉しむ」「聴く」「学ぶ」「食べる」の4つゾーンに分けたさまざまな企画展示などを行いますので、みなさまの来場をお待ちしています。



多様な資源、
豊かな自然とともに生きる

第2回

海藻文化祭

市民入場無料券

3月24日(火)

時間 10:00 ~ 15:00
(9:30 開場)

会場 鳥羽市立 海の博物館
鳥羽市浦村町大吉 1371-68

本券を持参いただくと5人まで無料で入場できます

広報とば 令和2年3月1日号 6

海藻や海草、さまざまな生きものたちからヒントをもらって探る

鳥羽の海の豊かさにかくされたヒミツ

海藻類を通して海を知ることは、

海とどうかかわって生きていくかということを考えるために非常に大切です。

東北の大震災から10年がたとうとしている今、次の被災地になるかもしれないこの場所で、

わたしたちは何を知り、なにを学び、また何ができるのかを考えます。

学ぶ

鳥羽の自然や海を理解し、守ることが防災、復興につながることなどを、東北から専門家を招いて教わるほか、災害に強い漁業や地域づくりの一例を、相差の海女のみなさんと一緒にマッピングを使って紹介します。そして、鳥羽の海や海藻とともに生活していく未来を、三重大学で自然環境リテラシー学を専門とする先生や、海洋教育に関わる先生たちをまじえて、参加者のみなさんと一緒に考えたいと思います。

トークセッション

- 東日本と東南海
- 三重の海、東北の海
- 鳥羽の海～今とこれから～
- 公開海女勉強会
- 海の学びと子どもたち

サイエンスカフェ

食べる・愉しむ

飲食・物販

- | | | |
|------------------------|-------------------------------|------------------------|
| ● とばあば
ワカメ刈り取り実演販売 | ● とこよの郷
スムージー、ジュース | ● マルサ商店
蒸し牡蠣ほか |
| ● ささべじ
鳥羽の海藻肥料使用の野菜 | ● 麻陽
ベジ料理 | ● 水高ボニータ
缶詰など試食、販売 |
| ● 梅の家
和菓子 | ● Bali house
インドネシア(バリ島)料理 | ● カフェあらみ
海藻を使った軽食など |

イベントブース

- 「水カンリソバ」づくり／定員15人
マリオ&はるさんによるワークショップ。海藻おし葉やイラストをのせてオリジナル「水カンリソバ」を作り、みんなと一緒に演奏しましょう。

- 他にも楽しい体験ブースがたくさん！
鳥羽市消防職員協議会、鳥羽商船高等専門学校江崎研究室、三重大学自然環境リテラシー学、岩尾博士の海藻ラボ、市立海の博物館



聴く

● とばあば

海の平和を守る美熟女戦士によるオープニングアクト

● アラメンズ

伊勢志摩の水に関わるメンズによる海藻文化祭限定バンド

● マリオ & はる

水と自然を愛する旅の音楽家



マリオ & はる

2020年は、参加者のみなさんと海藻が広がる海の音楽と一緒に演奏するため、鳥羽の海藻文化祭から旅がはじまります。みんなの夢を乗せた愛車のランクルの走行距離が、もうすぐで50万km達成です。

ステージ

タイムスケジュール

- | | |
|-------|------------------------|
| 10:00 | 演奏 (とばあば) |
| 10:30 | トークセッション「東日本と東南海」 |
| 11:00 | トークセッション「三重の海、東北の海」 |
| 11:30 | サイエンスカフェ「鳥羽の海～今とこれから～」 |
| 12:00 | 演奏 (アラメンズ) |
| 13:00 | サイエンスカフェ「公開海女勉強会」 |
| 13:30 | サイエンスカフェ「海の学びと子どもたち」 |
| 14:00 | 演奏 (マリオ&はる) |